

「未来高岡」ステップアップトーク（太田地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 8 月 27 日（土） 午後 3 時 00 分から 4 時 00 分

2、場 所 太田公民館

3、出席者 市民 50 名（うち女性 10 名）

高岡市

市長、広報統計課長、経営管理室長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・市道雨晴伊勢領線に、太田小学校までの通学路を早急に設置してほしい。現在、児童が道路の左側を通行しており、いつ事故が起きてもおかしくない状況である。

市長

- ・通学路については地元とも話し合い、ルート等を含めどのようにすべきか考えていきたい。

参加者

- ・雨晴海岸の周辺地域は海が近く津波の危険があることから、津波対策を講じてほしい。
- ・市内には庄川と小矢部川の 2 つの河口があり、上流で水量が増えると下流にある高岡市で氾濫が起こることとなる。上流の南砺市や砺波市、小矢部市と協力して治水対策を行ってほしい。

市長

- ・津波については、正確な情報をいかに早く伝え避難するかということが重要になってくるため、防災無線の整備をこれまで進めてきた。避難経路についても、日頃から意識できるように海拔表示を行っている。防災対策の詳細については高岡市防災計画の中で決定していきたい。
- ・庄川の堤防は国の事業として嵩上げを行っており、庄川上流の利賀ダムも本体整備が進むことになった。そのほか農業用地の整備で排水事業を進めている。

参加者

- ・太田地区の谷内と伊勢領には同じ住所がたくさんあり、配送の際に混乱が起こることがあるので市で改善できないか。

市長

- ・歴史的な経緯から同じ地番があることがまれにある。現在も法務局や土地の関係機関に相談しているが、住所自体を変更しなければ根本的な解決はできないのではないかと考えている。現在は、できるだけ不便がないよう関係機関へ情報提供を行い、今後、大きな制度変更がある時期に合わせて住所を変えられないか検討していきたい。

参加者

- ・今年 6 月に、近隣の介護老人保健施設の協力を得て、徘徊者の早期発見を目的とした安心オレンジバンド¹の訓練を行った。今後、徘徊者を見守る人もどんどん減っていくと思われるので、徘徊者を見守る側の負担も軽減できるよう、オレンジバンドのような活動を広めてほしい。

市長

- ・高齢者の徘徊は大きな課題である。最近は様々なツールが増えてきており、高齢者だけでなくその家族の負担も軽減できるようツールを利用した対策も考えていきたい。

¹ 高齢者の手首につけるオレンジ色のバンドで、連絡先を記した QR コードがついているもの。